高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について
（岩手県金ケ崎町）

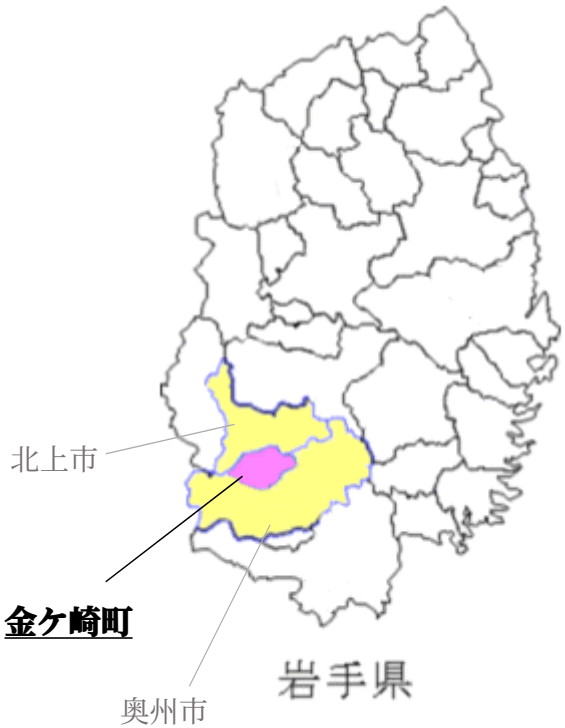
～令和２年度紹介事例～

岩手県保健福祉部健康国保課
東北厚生局管理課

岩手県金ケ崎町の概要

人　　口	15,550人
後期被保険者数	2,541人
加　入　割　合	16.34%

（令和2年3月31日現在）



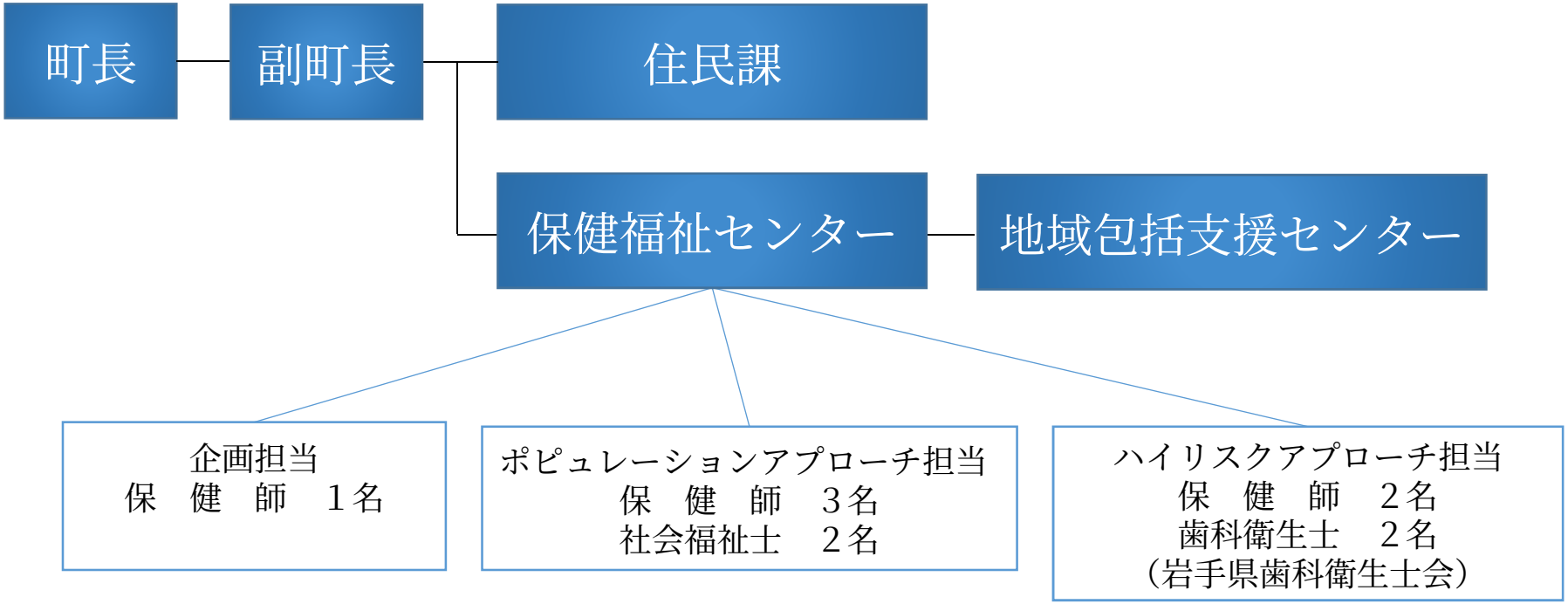
○金ケ崎町は、岩手県の南西内陸部に位置し、北は北上市、南は奥州市と接している。山岳部から平野部までの間の1,300㍍に及ぶ高低差は、さまざまな気象と風土を生み出し、多様な産業を育んできた。

○基幹産業の農業は、駒ヶ岳の東側に広がる肥沃な扇状地帯で米・野菜・花きの栽培が盛ん。西部山麓地帯では広大な牧草地を活用した酪農や大型畜産が行われている。

○工業は、県内最大級の工業団地を有し、医薬品・半導体・自動車組み立て工場を含む自動車関連企業などが立地し、飛躍的な発展を見せており、東北の市町村の中においても５番目の生造品出荷額を有し、地域経済の発展や雇用機会の創出に貢献している。

（出典：金ケ崎町ホームページ）

一体的実施の事業実施体制



・住民課でＫＤＢデータの管理を行っている。
・事業の企画調整担当は保健福祉センターの保健師が行い、通いの場等への積極的な関与については保健師（３名）と社会福祉士（２名）、また個別的支援は保健師（２名）と岩手県歯科衛生士会から派遣された歯科衛生士（２名）で行っている。

金ケ崎町における一体的実施の概要

高齢者の保健・介護予防に関わる健康課題の分析

・金ケ崎町の後期高齢者の健診未受診者のうち医療未受診者が61名存在。
・通いの場への参加や健診受診に消極的で将来寝たきりのリスクが高い。
・健康状態の確認をし、フレイルの疑いのある者の予防を徹底。
・通いの場に認知症タッチパネルを導入し、早期受診を促進。

高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）

・調査票により状況把握を実施し、リスクが高い者については保健師や歯科衛生士による戸別訪問の実施や医療機関受診勧奨を実施。
　① 口腔機能低下予防
　② 糖尿病性腎症重症化予防
　③ その他の生活習慣病について重症化予防
　④ 健康状態不明者

通いの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）

・金ケ崎町社会福祉協議会が開設するオレンジカフェ（13ヶ所）で実施。
・保健師等の専門職が用意する資料に基づき、「脳梗塞」「糖尿病」「フレイル予防」について指導するほか、口腔ケアについても方法の指導を行う。
・認知症タッチパネルを用意し、気軽な気持ちで早期発見に努め、場合によっては初期受診へつなげる。

新型コロナウィルス感染症関連

・感染症拡大防止対策のため各地区生涯教育センターにリモートで指導できるシステムを整備。

一体的実施以外の保健事業の概要

健康・体力づくりに関する事業

〇健幸ポイント事業
起床から就寝までの１日の歩数が３週間で1,000歩アップするよう生活し、記録用紙に記入。記録用紙を提出すると3,000円分の全国共通商品券を受け取ることができる。

〇町内企業と連携
・買物しながら2,000歩増やそう（「お買い物ＤＥウォーキングinイオン」）
・工場見学もウォーキングだ（「TOYOTAで健康づくり」特定保健指導の一環で実施）
・ＪＲ金ケ崎駅の階段に「あと10分歩きましょう」のサインシートを貼付

健康教育の啓発事業

〇出前講座
様々なメニューから希望に応じて役場職員や医師が希望の場所へ出向いて説明する。
例）「生活習慣病を予防改善する食事」
「いきいき百歳体操体験」
「健康で長生きするには」

病気の早期発見のための事業

〇人間ドックの費用助成
人間ドックを受診した人に対して、１人１回10,000円を限度に費用を助成。